

(様式2)

校 種	① ・ 中 どちらかに○	学校番号	1 6	学校名	宇都宮市立石井小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	------------

平成29年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 国・県・市の学力調査などから

学習の基礎である国語・算数の学力は、どの学年も県や市の平均とほぼ同程度かやや下回っている観点が多い。各教科の「知識・理解」の正答率は他の領域に比べて高く、「思考・判断・表現」についてはほぼ同程度か低かった。学習で得た知識をもとに思考し、判断し、表現する力（活用力）が十分とは言えない。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

授業への取組と学習に対する気持ちや態度については、どの学年も平均すると肯定割合が85%以上であり、学習に意欲的に取り組んでいる。「自分の考えを、理由や根拠をあげながら話すことができる。」や「ものごとをいろいろな視点や立場から考えている。」の肯定割合は、市平均と同程度かそれよりも低かった。「先生や友達の話をも、最後まできちんと聞いている。」ことへの肯定割合の高さに比べて、「グループなどでの話し合いに進んで参加している。」ことへの肯定割合が低い傾向が見られる。また、家庭での学習については、「宿題はきちんとやり、期限までに提出している。」の肯定割合は、どの学年も90%を越えているが、「授業で習ったことを、その日のうちに復習している。」の肯定割合は50%台である。

(3) 授業等への取組状況から

学習課題に対しては素直に取り組むことができるが、課題を確実に理解して、主体的に課題を解決しようとする意欲は十分ではない。また、友達の意見を聞くことはできるが、自分の考えを進んで発表して友達と考えを練り合いながら思考を深めていこうとすることに消極的な傾向が見られる。

2 今年度の重点目標

「豊かななかかわりの中で、いきいきと活動する児童の育成」

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆、授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) 基礎・基本の確実な定着

- ☆○基本的な学習技能の習熟と家庭学習の習慣化（通年）
- ☆ 朝の活動を活用した漢字の読み書きや、計算力などの基礎学力の定着（通年）
- ☆ 授業の復習に重点をおいた宿題内容の検討と提出された宿題の適切な評価（通年）
- ☆ 「振り返り学習」による個別指導・支援の充実（通年）

(2) 学習指導の工夫・改善

- ☆ 各種学力調査、学習・生活に関するアンケートの結果を生かした指導の改善（4月）
- ☆ 豊かななかかわりを持ち、より思考を深め合う学習活動の工夫（通年）
- ☆ ○振り返る活動の充実（通年）
- ☆ 習熟度別学習・少人数学習等の工夫改善によるきめ細やかな学習指導の実践
 - ・ 一人一研究の授業実践

(3) 読書活動の充実

- ☆ 朝の活動を利用した全校一斉の読書活動の実施（通年）
 - ・ 校内読書週間の実施（6・11月）
 - ・ 読み聞かせボランティアとの連携（通年）

(4) 家庭・地域との連携・協力

- ☆ 「石井っ子の学習・生活・体力づくり」をもとにした家庭との連携（通年）
- ☆ 地域協議会との連携，協力（通年）